

支援する会ニュース

「年金引き下げ違憲訴訟を支援する大阪の会」

支援する会事務局
第21号

2018. 2. 19

〒530-0041大阪府北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階 TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

500人を超える参加者で「2018 年金フェスタ」

寒さ吹き飛ばす熱気で年金裁判勝利へ

文化行事に魅せられ、クイズで年金学び、福引にドキドキ



太鼓サークル「拓」の和太鼓演奏

太鼓サークル「拓」の勇壮な和太鼓で幕を開け、司会の村崎副委員長が「2018年金ファスタ」の開会を宣言しました。主催者を代表して加納委員長は、「これ以上年金を引き下げられたら生活できない」という高齢者の投書も紹介しながら、年金裁判勝利、憲法9条と25条を守る取り組みの重要性を訴えました。

会場の雰囲気大きく盛り上げたのが、「うるま御殿」6人のメンバーによる沖縄民舞と獅子舞。会場の参加者も踊り出し場を盛り上げました。

「健康は健口から」と、歯科保険医協会理事・平尾先生による歯の講演も。「歯の数が多いほど認知症にならない」など高齢者にとって関心のある話が次々と。会場ロビーでは「歯の相談会」も取り組まれ、7人から相談がありました。

(2面につづく)

「国の責任で若い人も高齢者も安心できる年金を」一年金引き下げは憲法25条違反として、全国で5044人、大阪で108人が原告として闘っている年金裁判。2月10日(土)東成区民ホールで開催された『2018年金フェスタ』には500人を超える仲間が集結。文化行事も楽しみながら「年金裁判勝利」へ決意を固めました。

挨拶する加納委員長



雨にも冬の寒さにも負けず会場を埋め尽くした人たち



「年金白髪5人衆」の1人・半埜執行委員

楽しみ7分で年金学習



「年金〇×クイズ」全問正解者13人に1000円の図書カードがプレゼントされました



「猿舞座」の猿の環（たまき・5歳）は花猿として大事に育てられ、毛並みも美しい。「猿舞座」の語源の猿は自然、舞は芸術、座は仲間あるいは人々という意味だそうだ。

会場の笑いを誘ったのが、「白波5人衆」ならぬ「年金白髪5人衆」。府本部・三崎副委員長を先頭に、稲内、半埜、北村、土屋の執行委員5人が大見得を切り拍手喝采を浴びました。

87歳・一法さんのサクソ演奏が参加者を魅了

労働運動のリーダーとして長く活躍されてきた87歳の**一法さんによるサクソ演奏**。「いい日旅立ち」「ダニーボーイ」が参加者を魅了、アンコールの声がわき起こりました。



「年金クイズ」には、「〇」「×」カードを手に全参加者が挑戦。「年金積立金は約140兆円と言われている。…現在、国内と海外の株の購入は積立金の5割を超えている。〇か×か」。間違うたびに大きなため息が漏れ、10問全問正解者はわずか13人。「結構難しかった」「クイズで年金学習ができた」の感想も。

大きな拍手で登場したのが「**猿舞座**」。芸をするかどうか観客をハラハラドキドキさせましたが、輪抜けや鶯の谷渡りも見事成功。参加者から温かい拍手と投げ銭が寄せられました。

お待ちかねの「**福引き抽選会**」は特賞3万円から3等まで27本。特賞の旅行券は門真の仲間が引き当てました。

シルバー合唱団の歌声に続き、「**年金引き下げ違憲裁判**」原告団を代表して永井原告団長があいさつ。「かけがえのない人生を」の大合唱で会場が一つになる中、中矢実行委員長が「フェスタ」成功にお礼を述べるとともに、「年金問題をもっと国民の中に拡げ、安心できる年金制度を確立しよう」と呼びかけました。



ロビーでは、たたかう沖縄に連帯する展示も



第11回年金裁判

- 2019年4月25日(水) 午後3時00分～
- 大阪地方裁判所 202号法廷